

令和 8 年度

沖縄県立名護高等学校

入学者選抜募集要項



I	募集定員及び通学区域	1 ページ
II	各学科と目標	1 ページ
III	特色選抜	2 ページ
IV	一般選抜	9 ページ
V	学力検査及び面接、合格発表（フロンティア科・普通科共通）	11 ページ
VI	第 2 次募集	13 ページ
VII	帰国子女等の入学者選抜に係る取り扱い	14 ページ
VIII	不登校生徒等の入学者選抜に係る取り扱い	15 ページ
IX	障害等のある生徒の入学者選抜に係る取り扱い	15 ページ
X	出願書類作成上の留意事項	15 ページ
XI	入学手続き	15 ページ
XII	その他	15 ページ

住 所	〒905-0018 名護市大西5丁目17番1号
電 話	0980-52-2615
FAX	0980-54-1557
ホームページ	http://www.nago-h.open.ed.jp/

令和8年度 沖縄県立名護高等学校入学者選抜募集要項

沖縄県教育委員会の定める「令和8年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項」の「沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項」（以下、「県実施要項」とする）に基づき、次の通り入学志願者を募集する。

I 募集定員及び通学区域

課程	学科	募集定員	通学区域
全日制	普通科	240 名	国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村、金武町、恩納村（安富祖小学校及び恩納小学校区域のみ） 通学区域に関する規則別表第2より、以下に掲げる地域については通学区域とする 伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町（水納中学校区域のみ）、うるま市（津堅中学校区域のみ）、南城市（久高中学校区域のみ）、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町
	フロンティア科	80 名	県全域
	計	320 名	

※ ただし、募集定員は、上記の定員より、附属桜中学校からの入学予定者数を減じた数とする。

※ 普通科においては、入学定員の10%以内の範囲内で、通学区域外から入学することができる。

II 各学科と目標

普通科

県立第三中学校および県立第三高等女学校の歴史と伝統を引き継ぎ、北部地域の進学の出発点校として、幅広い知識と教養を身に付け、多様な社会情勢に対応できる人間の育成をめざす。

フロンティア科

北部地域の進学の出発点校として、沖縄の文化や歴史を大切にすると共に、地域産業、自然、文化、学術等の教育資源を活用し「変化と多様化」「国際化」時代に対応できる独創的な発想力と積極的な行動力を兼ね備えた人材育成のために、次の視点を追求する。

- (1) 郷土に誇りをもち、フロンティア精神（開拓精神）の涵養を図り、国際性に富み、グローバル社会で活躍できる資質を育む。
- (2) 語学力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高め、あらゆる分野で活躍できる人材を育成する。

※入学後の学科の変更はできません。

Ⅲ 特色選抜

1 方針

県実施要項の「2 特色選抜」に基づき、下記の通り本校特色選抜入学者を募集する。また、本校では北部の進学の拠点校として、生徒の人材育成の観点から、次のア、イに該当する者を募集する。

- ア 中学校で、学習面はもちろんのこと部活動や資格取得等でも実績を挙げている者
- イ 心身ともに健康で、本校での「文武両道」の実践に期待できる者

2 求める生徒像（アドミッションポリシー）

沖縄の文化や歴史を大切にすると共に、本校で身に付ける幅広い知識と教養、資質、能力を発揮して、課題解決に向け主体的に探究する意欲のある生徒を受け入れる。

- 難しい授業内容にしっかりついていこうと努力し、日々の諸活動にも懸命に取り組む、文武両道を実践する生徒。
- 志高く、夢に向かって自ら目標を設定し、自ら考え、自ら行動する生徒。
- 大学等、上級学校への進学をはじめ、自分の進路実現にむけて努力する生徒。

3 選抜において重視する観点

(1) 普通科・フロンティア科共通

- 基本的な生活習慣及び基礎学力が身についている生徒。
- 自ら目標を設定し、自ら考え、自ら行動する生徒。
- 中学校において日々の学習活動、文化・体育活動、生徒会活動、地域活動などに積極的に取り組んだ生徒。
- 入学後は文武両道を実践し、進路実現に向けて明確な目的意識を持ち努力する生徒。

(2) 普通科特別枠において(1)に加えて重視する観点

- 本校が「特別枠対象種目」に指定する部活動において、実績の有無にかかわらず個人として県の上位や九州、全国レベルの能力を有する生徒。
- 本校へ入学後、文武両道を実践する際の中心となる生徒。
- 受検した「特別枠対象種目」の部活動に入部する意志がある生徒。

(3) フロンティア科において(1)に加えて重視する観点

- 入学後は文武両道を実践し、進路実現に向けて明確な目的意識を持ち努力する生徒。
- 高い進路目標を持ち、グローバル社会で活躍しようとする意欲がある生徒。
- 語学力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を高め、様々な分野に生かそうとする生徒。

4 出願資格

次の(1)及び(2)に該当する者とする。

- (1) 令和8年3月に沖縄県内の中学校を卒業見込みの者
- (2) 本校を志願する目的意識が明確で文武両道を目指す本校への興味、関心及び適性を有する者

5 出願の要件

普通科一般枠及びフロンティア科へ志願する者は、次の(1)から(4)の条件を満たしている者とする。

- (1) 出願において、普通科一般枠は評定平均 4.0 以上、フロンティア科は評定平均 4.3 以上の者
- (2) 行動の記録の良い者
- (3) 出席状況の良い者
- (4) 次に掲げる諸活動の実績等（以下「実績分野」とする）について、p. 4 のランク表でDランク以上の実績を証明することができる者
 - ア 文化活動
 - イ スポーツ活動
 - ウ 社会活動
 - エ ボランティア活動
 - オ 資格取得等の活動

※なお、特色選抜の出願に係る実績は、上位のもの 1項目のみとし、証明する資料として、下記の①②（団体競技の場合は、③も追加）をA4版サイズに統一して、以下の画像データを一つのpdfにまとめ、web出願にて添付する。

提出資料には学校名と氏名、実績を記入すること。

A～Dのランク付けは、証明する資料に基づいて高校側が行う。

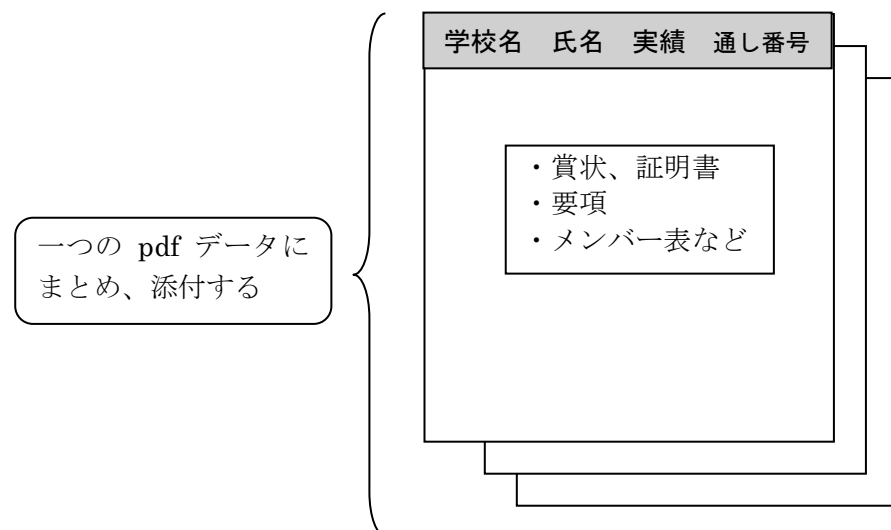
- ①実績を証明する資料（賞状、認定証、実績を証明する新聞記事等）の写し
- ②大会名、主催者名、競技日程、参加資格等記載の実施要項の写し
- ③団体競技の場合は、登録メンバーであることを証明する資料の写し

※1枚目に学校名と氏名、実績を記入しweb出願にて添付すること。実績の証明等が2枚以上ある場合は通し番号を振ること。

例：「〇〇中学校 名護太郎 〇〇大会 ベスト4」

「〇〇中学校 名護花子 英検 準2級」

（クラブチームでの実績の場合は、そのチーム名も記載すること）



令和8年度ランク表 実績分野「普通科・フロンティア科 共通」

	文化活動	スポーツ活動	社会活動	ボランティア活動	資格取得等
A	＊音楽（吹奏楽、マーチング） 九州全国 入賞以上 九州全国 個人 入賞以上 ＊感想文・図画 九州全国入賞以上 ＊科学作品展 九州全国 入賞以上 ＊弁論（少年主張、英語弁論） 九州全国 入賞以上 ※ただし、参加賞に準ずるものは除く	＊各競技大会 九州全国 団体 1勝以上 個人 1勝以上 （駅伝）九州 団体 個人 区間12位以内 ※その他体育的活動で県代表として1勝以上あげた者	＊3年間を通して活動した者で、九州全国レベルで表彰を受けた者	＊3年間を通して活動した者で、九州全国レベルで表彰を受けた者	＊英検 2級以上 ＊漢検 2級以上 ＊数検 2級以上 等
B	＊音楽（吹奏楽、マーチング） 県 団体 金賞 （Aパート 金賞） 個人 金賞 ＊書道・感想文・図画 県 最優秀、金賞 ＊科学作品展 県 最優秀、金賞 ＊沖縄青少年科学作品展（沖縄電力） 社長賞・県知事賞・教育長賞 環境奨励賞 ＊科学の甲子園ジュニア 全国大会出場 ＊弁論（少年主張、英語弁論） 県 最優秀 ＊その他文化活動で県代表以上	＊各競技大会 県 団体 ベスト4以上 個人 ベスト4以上 （駅伝）区間3位以内 ＊その他体育活動で県代表以上	＊3年間を通して活動した者で、県レベルで表彰を受けた者	＊3年間を通して活動した者で、県レベルで表彰を受けた者	＊英検 準2級 ＊漢検 準2級 ＊数検 準2級 ＊数検 2級 （1次のみ、または2次のみ） 等
C	＊音楽（吹奏楽、マーチング） 県 団体 銀賞 Aパート銀 個人 銀賞 ＊書道・感想文・図画 県 優秀・優良、銀賞 ＊科学作品展 県 優秀・優良 地区 最優秀、金 ＊沖縄青少年科学作品展（沖縄電力） 佳作 ＊弁論（少年主張、英語弁論） 県 優秀・優良 地区 最優秀 ＊琉球舞踊（沖縄タイムス、琉球新報） 新人賞 ＊その他文化活動で地区代表	＊各競技大会 県 団体 ベスト8以上 個人 ベスト8以上 （駅伝）区間8位以内 地区 団体 優勝 準優勝 個人 優勝 準優勝 （駅伝）区間1位	＊3年間を通して活動した者で、地区レベルで表彰を受けた者 ＊生徒会会長 副会長	＊3年間を通して活動した者で、地区レベルで表彰を受けた者	＊数検 準2級 （1次のみ、または2次のみ） 等
D	＊音楽（吹奏楽、マーチング） 県 Aパート銅賞 ＊書道・感想文・図画 県 佳作・入選、銅賞 ＊科学作品展 県 佳作・入選 地区 銀 ＊沖縄青少年科学作品展（沖縄電力） 入選 ＊弁論（少年主張、英語弁論） 地区 優秀 ＊部活動の正・副部長	＊各競技大会 県 団体 ベスト16以上 学年別 ベスト4以上 地区 団体 ベスト4以上 個人 ベスト4以上 （駅伝）区間2.3位 ＊その他体育活動で地区代表以上 ＊部活動の正・副部長	＊生徒会役員 ＊部活動の正・副部長（リーダー） ＊3カ年間、正・副HR長を務めたものの	＊部活動の正・副部長（リーダー）	＊漢検 3級 ＊英検 3級 ＊数検 3級 ＊理検 3級 等

確認

- ①スポーツ活動の大会は原則、中体連が主催・共催するもの、または各競技の協会・連盟主催のものとする。
- ②九州及び全国大会に関しては、所属するチームまたは個人が県予選を勝ち抜く等、県代表として参加した大会、または選抜チームのメンバーとして選出され、県代表として出場した大会に限る。その大会において、上位進出の懸かった試合で1勝以上の実績を挙げた場合、調査書において「1勝」等成績も記載し、対戦表や新聞記事等の結果がわかる資料を提出すること。
- ③実績を示す証明書のあるものを評価する。団体競技においては、登録メンバーであること。
- ④文化活動の大会、コンテスト等は地区または全県的に組織された団体の主催するものとする。
※書道に関しては、県内の新聞社主催に限る。（県外大会等は主催や規模によって基準が統一できないため）
- ⑤書道、空手、三線などの級・段位は、流派がまちまちのため、評価しない。
- ⑥検定は1次・2次ともに合格で、資格取得とする。（ただし、数検の1次のみ、2次のみは1ランク下げて扱う）
- ⑦学年別大会の場合は1ランク下げて扱う。ただし新人大会は該当しない。
- ⑧普通科特別枠のみ、実績のない者をEランクとして取り扱う。

6 特別枠（募集定員の5%以内）

(1) 普通科

ア 出願の要件

特別枠は、募集定員の5%以内とし、行動の記録の良い者及び出席状況の良い者で、かつ、次の①～④の要件を満たしている者が出願できるものとする。

- ① 3年間の評定平均が3.3以上の者
- ② 本校が「特別枠対象種目」に指定する部活動（下記枠内の6種目、並びは50音順）において、実績の有無にかかわらず個人として県の上位や九州、全国レベルの能力を有する者
- ③ 文武両道を実践する際の中心となりえる者
- ④ 受検した「特別枠対象種目」の部活動に入部する意志がある者

サッカー部（男子）	野球部（男子）
バスケットボール部（男子）	ラグビーフットボール部（男子）
バスケットボール部（女子）	陸上部（男女）

イ 出願手続

出願にあたっては、Web出願時に「特別枠の希望」に必ずチェックを入れ、記入した「名護特別枠様式1」もpdfで添付すること。Dランク以上の実績がある場合は、p.3の「5 出願要件（4）」同様にweb出願にて添付すること。また、中学校側で特色選抜web出願者名簿の備考欄に、「特別枠 ○○部」と記入すること。

ウ 選抜の方法

特別枠へ出願する者には、面接に加えて該当する部活動の実技検査を課す。

(2) フロンティア科・・・特別枠の募集は行わない。

7 募集人員（全日制課程）

(1) 普通科・・・・・・募集定員（240名）の25%以内（特別枠5%以内を含む）

(2) フロンティア科・・・募集定員（80名）の25%程度

※ただし募集定員は、上記の定員より、附属桜中学校からの入学予定者数を減じた数とする。

8 通学区域

(1) 普通科・・・・・・国頭学区の区域、恩納村（安富祖小学校及び恩納小学校区域のみ）

通学区域に関する規則別表第2より、以下に掲げる地域については通学区域とする。（伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町（水納中学校区域のみ）、うるま市（津堅中学校区域のみ）、南城市（久高中学校区域のみ）、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町）

※入学定員の10%以内の範囲で通学区域外から入学できる。

(2) フロンティア科・・・県全域

9 出願期間

(1) 特色選抜の出願期間

令和8年2月2日（月）～2月3日（火）午後2時までとする。（必着）

※ただし、特別の事情があつて遅れることが予想される場合は、事前にその旨を本校校長に連絡すること。

なお、Web出願システムにおける志願情報の登録は1月30日（金）正午までとする。

10 出願手続

県実施要項の「2 特色選抜 (7) 出願手続」に基づいて行う。

11 出願書類等

NO	提出書類	様式	備考
1	特色選抜入学志願書	特色第1号様式	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。
2	特色選抜志願者名簿	特色第2号様式	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者のみ記載する。ただし、Web 出願システムで志願者情報を登録したものについては、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出するものとする。 特別枠受検生がいる中学校は、特色選抜 web 出願者名簿の備考欄に、「特別枠 ○○部」と記入すること。 校区外から普通科に出願する受検生がいる中学校は、特色選抜 web 出願者名簿の備考欄に、「校区外」と記載すること。
3	写真票	特色第3号様式	正面、上半身、無帽（出願の日前6か月以内に撮影したもの）。縦 4.5 cm×横 3.5 cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。カラー、白黒いずれも可。印刷したものも可。
4	調査書	第4号様式	(1) 「①各教科の学習の記録」の3年欄は、12月までのものとする。 (2) 「⑤出欠の記録」の3年は、令和7年12月28日現在で記入する。 (3) 備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについてその数値を記入し、その数が10日以上の場合は、理由をあわせて特記する（病欠については回数のみ）。 <u>(4) 全国大会等、九州大会レベル以上の大会等へ県代表として出場し、上位進出の懸かった試合で1勝した場合は、「1勝」等成績も記載する。</u>
5	住民票謄本等		(1) 沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で全日制普通科に出願する者。 (2) 出願の日前3か月以内に発行されたものとする。 <u>(3) マイナンバー掲載なし、本人・保護者等の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可</u>
6	確約及び証明書	第5号様式	通学区域に関する規則別表第2に掲げる地域からの出願者。または、宮古島、伊良部島、石垣島及び久米島から出願する者。
7	入学考査料等減免申請書	第10号様式	

8	出願に係る実績について証明する資料の写し	<u>A 4 サイズに統一し、一つの pdf にまとめ Web 出願で添付</u>	(1) 実績について証明する資料（賞状、認定証、実績を証明する新聞記事等）の写し (2) 大会名、主催者名、競技日程、参加資格等記載の実施要項の写し (3) 団体競技の場合は、登録メンバーであることを証明する資料の写し <u>※出願に係る実績は上位 1 項目のみとする。</u> ※上記 (1) (2) (団体競技の場合は (3) も追加) を A 4 サイズに統一し、画像データを一つの pdf にまとめて Web 出願で添付すること。 <u>それぞれに学校名と氏名、実績を記入すること。</u> ※団体競技において登録メンバーと証明できないものがない場合は、資料不備になりますので注意してください。
9	特別枠申請書	名護特別枠様式 1 <u>Web 出願 (pdf) で添付</u>	普通科特別枠へ出願するものは、記入した用紙を pdf にして web 出願時に添付すること。様式は本校ホームページよりダウンロード可。記入した原本の提出は必要なし。

12 選抜の方法

中学校長から提出された調査書、学力検査の成績及び面接等の結果を基に、総合的に判断して特色選抜入学者を決定する。ただし、学力検査の成績については一般選抜の学力検査（各教科配点 60 点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点 50 点）を成績として取扱うものとする。また、普通科で特別枠へ出願したものは、申請した部活動の実技検査を実施する。

(1) 普通科

ア 面接は約 5 分とする。

イ 特別枠における実技検査については、面接後別に行う。

ウ 調査書と学力検査、申請した実績分野の顕著な実績（証明書より）、実技検査（特別枠のみ）、面接結果等を含め、総合的に判断して可否を決定する。

(2) フロンティア科

ア 面接は約 5 分とする。

イ 調査書と学力検査、申請した実績分野の顕著な実績（証明書より）、面接結果等を含め、総合的に判断して可否を決定する。

13 特色選抜の日時及び場所

(1) 集合日時・・・令和 8 年 2 月 12 日（木）

○フロンティア科

9:30 フロンティア科受検生集合

10:00 面接開始

○普通科

9:30 普通科受検生集合

10:00 普通科面接開始

特別枠出願者は面接後に
実技検査を行う

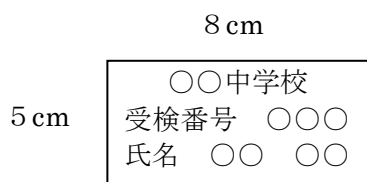
(2) 集合場所・・・普通科、フロンティア科ともに出願後、改めて連絡する

※ 普通科の「特別枠」で出願した者は、実技検査に必要な道具等を各自で準備すること。

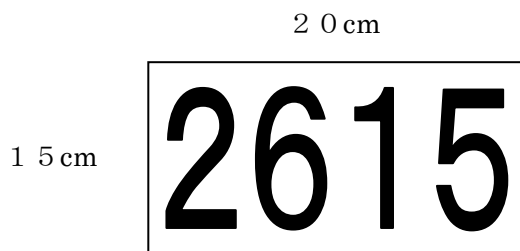
14 受検生に対する注意事項

- (1) 普通科及びフロンティア科の面接会場、面接控え室の事前確認は、令和8年2月10日（火）の午後4時から午後5時の間に廊下からできる。
- (2) 受検生は各人の受検番号を確認すること。
- (3) 受検生は、各中学校の制服を着用すること。
- (4) 受検生は、名札（縦5cm×横8cm、出身中学校名・受検番号・氏名を書いたもの）を左胸部につけること。
- (5) 面接終了後、受検生は控え室に戻ることはできない。
- (6) 普通科特別枠の受検生は、体育着及びそれぞれにふさわしいシューズを必ず準備すること。実技試験の際には、体育着の胸の部分に、黒のマジックで受検番号を記した白い布のゼッケン（縦15cm×横20cm）を縫いつけること。
- (7) 出席確認や面接の際に監督者から「少しの間、マスクを外して下さい。」の指示があればこれに従うこと。

【名札の作成例】



【ゼッケンの作成例】



15 合格発表及び合格者オリエンテーション

合格発表は令和8年3月17日（火）午前9時にホームページにて発表するとともに、出身中学校長を通じて本人へ通知する。合格者は令和8年3月27日（金）午前10時に行う合格者オリエンテーションに必ず出席すること。

IV 一般選抜

1 方針

県実施要項に基づき、下記の通り本校入学者を募集する。

2 出願資格

- (1) 中学校を令和 8 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 中学校卒業者（以下「過年度卒業者」という。）
- (3) 学校教育法施行規則第 95 条 各号のいずれかに該当する者

3 募集定員（全日制課程）

- (1) 普通科・・・・・・240 名（特色選抜を含む）
- (2) フロンティア科・・・・80 名（特色選抜を含む）

※ただし募集定員は、上記の定員より、附属桜中学校からの入学予定者数を減じた数とする。

4 通学区域

普通科・・・p.5 の「8 通学区域 (1)」に同じ。

※入学定員（特色選抜を含む）の 10%以内で通学区域外から入学できる。

フロンティア科・・・p.5 の「8 通学区域 (2)」に同じ。

5 出願期間

一般選抜の出願期間は、p.5 の「9 出願期間 (1) 特色選抜の出願期間」に同じ。

6 出願手続

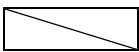
県実施要項の「3 一般選抜 (5) 出願手続」に基づいて行う。

7 出願書類等

※web 出願できない場合（県外・過卒含む）は、中学校側で下記様式を沖縄県教育委員会の HP よりダウンロードし、用紙で出願手続きをすること。出願は、中学校側で出願書類（簡易書留）と受検料（現金書留）を本校校長宛に送付すること。なお、県外からの受検の場合は、中学校側から沖縄県教育委員会に問い合わせ、別途必要な手続きを進めること。

NO	提出書類	様式	備考
1	入学志願書	第 1 号様式	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。
2	入学志願者名簿	第 2 号様式	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者のみ記載する。ただし、Web 出願システムで志願者情報を登録したものについては、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出するものとする。 校区外から普通科に出願する受検生（第 2 志望含む）がいる中学校は、一般選抜 web 出願者名簿の備考欄に、「校区外」と記入すること。 ※再出願の際は、用紙での手続きとなる。

3	写真票	第3号様式	正面、上半身、無帽（出願の日前6か月以内に撮影したもの）。縦4.5 cm×横3.5 cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。カラー、白黒いずれも可。印刷したものも可。
4	調査書	第4号様式	(1) 「①各教科の学習の記録」の3年欄は、12月までのものとする。 (2) 「⑤出欠の記録」の3年は、令和7年12月28日現在で記入する。 (3) 備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについてその数値を記入し、その数が10日以上の場合は、理由をあわせて特記する（病欠については回数のみ）。 <u>(4) 全国大会等、九州大会レベル以上の大会等へ県代表として出場し、上位進出の懸かった試合で1勝した場合は、「1勝」等成績も記載する。</u>
5	住民票謄本等		(1) 沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で全日制普通科（第2志望での普通科希望者を含む）に出願する者。 (2) 出願の日前3か月以内に発行されたものとする。 <u>(3) マイナンバー掲載なし、本人・保護者等の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可</u>
6	確約及び証明書	第5号様式	通学区域に関する規則別表第2に掲げる地域からの出願者。または、宮古島、伊良部島、石垣島及び久米島から出願する者。
7	入学考査料等減免申請書	第10号様式	連携型中高一貫教育に係る入学者選抜に出願している者。
8	入学考査料	2,200円	現金書留で出願書類に同封、または別で送付。
9	健康診断書		過年度卒業者のみ提出する。ただし、令和8年1月以降に発行されたもの。
10	県外からの入学志願のための許可願	第15号様式	志願者が県外中学校出身者の場合のみ提出、ただし、令和8年1月20日(火)までに沖縄県教育委員会に提出し、許可を受けていること
11	県外からの入学志願のための許可願に関する身元引受書（誓約書）及び身元引受人の住民票		(1) 県外中学出身者のうち、保護者が志願者と共に沖縄県内に居住しないときのみ提出。 (2) 住民票はマイナンバーが記載されていないこと。出願の日前3ヶ月以内に発行されたもの。

※調査書については、第二志望がない場合は、 のように斜線を引くこと。

8 志願変更及び手続

県実施要項の「3 一般選抜 (6) 志願変更及び手続」に基づいて行う。

(1) 本校から他校へ志願変更する場合

入学志願締切りの結果、志願者が定員を超えた場合、出身中学校長及び本校校長が適当と認めた者は、本校以外の高等学校へ志願変更を行うことができる。志願変更をする者は、志願変更願（第6号様式）に必要な事項を記入し、出身中学校長を通して本校校長にこれを提出する。志願変更の可能な人員は、志願者数が入学定員を下回らない範囲内とする。志願変更希望者が、志願変更可能な人員を上回る場合は、公正な抽選によって志願変更を認めることができる。志願変更を認められ

た者の入学志願書類は出身中学校長へ返却をする。その際、本校から返却する書類の受領書を中学校側で準備し、持参すること。この場合、入学検査料は返却しない。なお、郵送による志願変更の受付及び入学志願書類の返却は原則として行わない。

(2) 他校から本校へ志願変更する場合

志願変更をする者は、志願先高等学校から返却された入学志願書類に変更すべき事項（※印の欄）を記入し、p.9～の「7 出願書類等」に準じて入学志願書類（全日制課程からの志願変更の場合、入学検査料及び入学検査料減免申請書は不要）、及び志願変更願（第6号様式）の写しを所定の期間内に本校校長に提出すること。

※本校における学科の変更を行う場合は、(1)、(2)に準じて行う。

(3) 志願変更申し出期間

令和8年2月 6日（金）9：00～16：00

2月 9日（月）9：00～14：00

(4) 入学志願書取り下げ及び再出願期間

令和8年2月16日（月）9：00～16：00

2月17日（火）9：00～14：00

9 選抜の方法

県実施要項の「3 一般選抜 (7) 選抜の方法」に基づいて行う。なお、本校においては以下の方針を加味して選抜を行う。

- (1) 調査書、学力検査等の成績及び面接の結果等を基に総合的に判断して選抜する。
- (2) 調査書と学力検査の成績との比重は4.5対5.5とする。
- (3) 学力検査実施教科ごとの配点は変えない。
- (4) 面接は志願者全員について実施する。ただし、本校に特色選抜で出願し、すでに面接を受けた受検生については、一般選抜での面接を行わない。

V 学力検査及び面接、合格発表（フロンティア科・普通科共通）

1 学力検査及び面接

- (1) 検査期日、集合時間及び集合場所（出張検査場の受検生を除く）

令和8年3月4日（水）9：20 各控室

3月5日（木）9：35 各控室

- (2) 学力検査及び面接の時間割

時 限 月 日	第 1 時 限 (10:00～10:50)	第 2 時 限 (11:15～12:05)	昼 食 55分	第 3 時 限 (13:15～14:05)
第 1 日 目 3月4日(水)	国 語	理 科		英 語
第 2 日 目 3月5日(木)	社 会	数 学		面 接 (13:30～)

(3) 検査時間及び配点

学力検査を実施する教科の検査時間は、いずれも 50 分とし、一般選抜の配点は各 60 点とする。
※特色選抜においては、思考力等を問う記述式問題以外の各 50 点とする。

(4) 検査場所

- ア 県立名護高等学校
- イ 指定された委託検査場又は出張検査場

2 受検生に対する注意事項

(1) 受検場及び控え室の事前確認は、令和 8 年 3 月 3 日（火）の午後 4 時から午後 5 時の間に廊下からできる。

(2) 受検生は各人の受検番号と受検場を確認すること。

(3) 学力検査及び面接に際しては、それにふさわしい服装（原則として各中学校の制服）で臨むこと。

(4) 受検生は名札（縦 5 cm×横 8 cm、出身中学校名・受検番号・氏名を書いたもの）を左胸部に付けること。

(5) 所持品の取扱い

ア 受検者は検査時間中、次のものを携行すること。

HB 以上の濃さの黒鉛筆（シャープペンシルも可。鉛筆は和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、プラスチック製の消しゴム、定規（三角定規は可。ただし、分度器及び分度器機能付き定規、三角スケールは不可）、コンパス（分度器機能付きは不可。）

イ 受検者は検査時間中、携行品以外に次のものを机の上に置くことができる。

鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）、時計（ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアラブル端末等も不可。）、眼鏡、ハンカチ（無地のタオルを含む）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）

(6) 受検の際は、すべて監督者の指示に従うこと。

(7) 監督者の「始め」、「やめ」の合図を十分に守ること。

(8) 早くできても、「終わり」の合図があるまでは離席しないこと。

(9) 問題の解答は、注意事項や問いをしっかりと読んでから始めること。

(10) 書き損じた場合は、消しゴムでしっかり消してから、それぞれの欄にはっきりと書くこと。

(11) 検査中は、質問を許さない。ただし、印刷に不明瞭なものがある場合は、無言で挙手する。

(12) 検査中にトイレに行きたくなった時、又は健康状態に異常が生じた場合は、無言で挙手する。

(13) 検査の際に監督者から「少しの間、マスクを外して下さい。」の指示があれば従うこと。

3 合格発表及び合格者オリエンテーション

合格発表は令和 8 年 3 月 17 日（火）午前 9 時にホームページにて発表するとともに、出身中学校長を通じて本人へ通知する。合格者は令和 8 年 3 月 27 日（金）午前 10 時に行う合格者オリエンテーションに必ず出席すること。

4 追検査

インフルエンザなど学校保健安全法で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、学力検査の全部又は一部を受けることができなかった者は、追検査を受検することができる。また、追検査で不合格となった者は第 2 次募集へ出願することができる。

- (1) 追検査期日：令和8年3月9日（月）
- (2) 追検査合格発表期日：令和8年3月17日（火）
※その他詳細については、後日連絡する。

VI 第2次募集

1 方針

合格者が募集定員に満たない場合、県実施要項に基づき、下記の通り本校入学者を再度募集する。

2 出願資格

学力検査を受検し、県立高等学校に合格しなかった者とする。

※本校へ「一般選抜」学力検査を受検し不合格になった者については、同一学科（第1志望、第2志望を含む）に出願することはできない。

3 募集人員

本校入学定員から、特色選抜および、一般選抜の合格者を除く人数を募集人員とする

4 通学区域・・・沖縄県全域

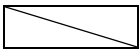
5 出願期間及び受付場所

- (1) 入学志願書類等の受付日時
令和8年3月18日（水）9：00～16：00
3月19日（木）9：00～14：00
- (2) 入学志願書類等の受付場所・・・本校 会議室（管理棟2階）

6 出願手続

県実施要項の「4 第2次募集（3）出願手続」に基づいて行う。

7 出願書類等

- (1) 第2次募集入学志願書（第8号様式）
- (2) 第2次募集志願者名簿（第9号様式）
- (3) 調査書（第4号様式）（一般選抜で提出したものと内容は同じもの）
- (4) 確約及び証明書（第5号様式）
※通学区域に関する規則別表第2に掲げる地域からの出願者。または、宮古島、伊良部島、石垣島及び久米島から出願する者。
- (5) 入学考査料減免申請書（第10号様式）
- (6) 入学考査料（1,100円）
- (7) その他の書類については、県実施要項の「4 第2次募集（3）出願手続」と同じ。
※第2次募集調査書については、第二志望がない場合は、のように斜線を引くこと。

8 志願変更及び手続

県実施要項の「4 第2次募集（4）志願変更及び手続」に基づいて行う。

志願者は、入学志願締切りの後、志願した高等学校、学科又はコースを変更（以下「2次志願変更」という。）することができる。

(1) 本校から他校へ志願変更する場合

2次志願変更をする者は、第2次募集志願変更願（第11号様式）に必要な事項を記入し、出身中学校長を通して本校校長に提出し、入学志願書類の返却を受けるものとする。その際、本校から返却する書類の受領書を中学校側で準備し、持参すること。この場合、入学考査料と入学考査料減免申請書は返却しない。なお、郵送による2次志願変更の受付及び入学志願書類の返却は、原則として行わない。

(2) 他校から本校へ志願変更する場合

2次志願変更をする者は、志願先高等学校から返却された第2次募集入学志願書に変更すべき事項（※印の欄）を記入し、p.12の「Ⅵ 第2次募集 7 出願書類等」に準じて入学志願書類（全日制課程からの志願変更をする場合、入学考査料及び入学考査料減免申請書は不要）と第2次募集志願変更願（第11号様式）の写しを所定の期間内に本校校長に提出すること。

(3) 志願変更再出願

令和8年3月23日（月）9：00～14：00

9 選抜の方法

県実施要項の「4 第2次募集 (5) 選抜の方法」に基づいて行う。なお、本校においては以下の方針を加味して選抜を行う。

- (1) 学力検査成績証明書(第14号様式)、調査書及び面接の結果等を基に総合的に判断して選抜する。
- (2) 調査書と学力検査の成績との比重は4.5対5.5とする。
- (3) 学力検査の成績は、一般選抜の学力検査（各教科配点60点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点50点）とする。
- (4) 面接は志願者全員について実施する。

10 面接

- (1) 集合日時・・・令和8年3月25日（水）9：30（面接開始は10：00）
- (2) 集合場所・・・出願後、あらためて連絡する。

11 受検生に対する注意事項

- (1) 面接に際しては、それにふさわしい服装（原則として各中学校の制服）で臨むこと。
- (2) 受検生は、名札（縦5cm×横8cm、出身中学校名・受検番号・氏名を書いたもの）を左胸部につけること。
- (3) 面接終了後、受検生は控え室に戻ることはできない。
- (4) 芸術選択科目希望調査を行うので、芸術科目（音楽・美術・書道）の選択について第1希望と第2希望まで決めておくこと。

12 合格発表及び合格者オリエンテーション

合格発表は令和8年3月27日（金）午前9時にホームページにて発表するとともに、出身中学校長を通じて本人へ通知する。合格者は令和8年3月27日（金）午前10時に行う合格者オリエンテーションに必ず出席すること。

Ⅶ 帰国子女等の入学者選抜に係る取扱い

志願者のうち、帰国子女等について、県立高等学校受検への配慮を必要とするものは、「学力検査等に際しての配慮願い書」（参考様式2）を中学校長を経て本校校長に提出することができる。県教育委員会、本校、当該中学校で連携をとり、どのような配慮等ができるかを判断する。

VIII 不登校生徒等の入学者選抜に係る取扱い

志願者のうち、欠席又は出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められる者は、自己申告書（第13号様式）を中学校長を経て本校校長に提出することができる。自己申告書（第13号様式）の記入は、志願者及び保護者の直筆とする。提出にあたっては、厳封してもよい。その際、封筒の表に、中学校名、本人氏名を記入すること。

IX 障害等のある生徒の入学者選抜に係る取扱い

障害等のある生徒の受検については、「障害のある生徒の学力検査等の際しての配慮願い書」（参考様式1）に必要事項を記入し、障害・疾病等にかかる診断書もしくは、身体障害者手帳等の写しを中学校長もしくは、特別支援学校長を経て本校校長に提出することができる。県教育委員会、本校、中学校もしくは特別支援学校で連携をとり、どのような配慮等ができるかを判断する。

X 出願書類作成上の留意事項

- (1) 調査書は「令和8年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項」の「沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項の実施に関し、教育長が定める事項等について」の「8 調査書の作成方法」を参照のうえで作成する。
- (2) 調査書の備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについてその数値を記入し、その数が10日以上の場合は理由もあわせて特記する。（ただし、病欠については回数のみ）
- (3) 書類に記入する必要事項については、黒インクか黒のボールペンを使用して作成する。
- (4) 書類に記入する必要事項については、記入もれがないよう十分な注意を払うこと。

XI 入学手続き

- (1) 入学手続きの方法は合格者オリエンテーションの際に指示する。合格者と保護者は必ず出席すること。
- (2) 入学料については、合格発表日より、指定された期日までに納入すること。
- (3) 入学時納付金については、合格発表時に関係書類を配布し、オリエンテーション時に納付・提出するものとする。
- (4) 「入学料」の納付がない場合は入学を辞退したものと取り扱う。

XII その他

本募集要項に掲載されていない事項についてはすべて、沖縄県教育委員会の定める「令和8年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項」によるものとする。

《入試に関わる事項の問い合わせ先》

〒905-0018 名護市大西5丁目17番1号	
沖縄県立名護高等学校	(教 頭) 比嘉 剛, 島袋 里映
	(教務部) 又吉 祥一郎
	TEL. 0980-52-2615
	FAX. 0980-54-1557